第27講　近世の社会経済

1　農業の発達

①耕地面積の増大

幕府・藩の勧農政策を背景に，164万町歩（17世紀初め）から297万町歩（18世紀初め）へと，**約２倍**に増大した。

A　治水・灌漑技術の進歩

あ　**玉川上水**　（1654年）

江戸の町人玉川兄弟（庄右衛門・清右衛門）により完成。多摩川から江戸に引水。神田上水とともに江戸市中の飲用水となった。

い　**箱根用水**　（1670年）

駿河国深良村の名主大庭源之丞・江戸浅草の豪商友野与右衛門により完成。相模国芦ノ湖から引水。

う　**見沼代用水**（1728年）

幕臣の井沢弥惣兵衛が，見沼新田（武蔵国）開発のため利根川から引水。

B　**新田開発**

開発後，検地を受けるまでの数年間は**鍬下年季**といい，年貢諸役の徴収はなかった。

また，本田畑と異なり勝手作も許されたので，農民も積極的に開発に取り組んだ。

☆椿海（下総国）などの干拓も行われた。

あ　土豪開発新田

い　**代官見立新田**

う　藩営新田

え　村請新田

お　**町人請負新田**

川口新田（摂津国），**紫雲寺潟新田（越後国）**，**鴻池新田（河内国）**，佐倉新田（下総国）など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②農業技術の発達

A　**農具の改良**

あ　**備中鍬**⇒田の深耕具，従来の風呂鍬にかわり普及。

い　**千歯扱**⇒稲の脱穀具，従来の扱箸にかわり普及。俗に**“後家倒し”**という。

う　殻竿　⇒穀類・豆類の脱穀具，竿の先に短い竿を付けて回転させ打つ。

え　**唐箕**　⇒玄米と籾殻の選別具，従来の箕にかわり普及。

お　**千石簁**⇒米と糠の選別具，万石通などという場合もある。

か　**踏車**　⇒水田の揚水機，故障がちで効率の悪い**竜骨車**にかわり普及。

B　**金肥**の使用⇒商品作物栽培に使用

従来の刈敷・草木灰や下肥に加え，**干鰯・油粕・〆粕**などを使用。

C　農薬の使用

享保期以降，おもに西日本で害虫（蝗・ウンカなど）の駆除に鯨油を使用。

また，虫送りという悪霊退散の行事もあった。

D　**農学**の発達と農政家

あ　『**清良記**』（寛文期？）

著者不明，土居清良をめぐる軍記物語で，その一部分は最古の農書とされる。

い　**『農業全書』（元禄期）**

明の徐光啓が著した『農政全書』を学んだ**宮崎安貞**（福岡藩に仕えたのち帰農）が，見聞・体験をもとに1697年完成。**わが国初の本格的農書。**

う　**『民間省要』（享保期）**

東海道川崎宿の名主から代官に抜擢された**田中丘隅**が，8代将軍吉宗に献じた意見書。

え　**『農政本論』（化政期）**

経世家**佐藤信淵**が著した農政論。

お　**『広益国産考』『農具便利論』（化政期）**

諸国を廻った農政家**大蔵永常**が著した農書。商品貨幣経済の発展に対する農家経営として，商業的農業・農産加工を力説した。

か　**二宮尊徳〔金次郎〕（天保期）**

相模国小田原藩の農民出身。農業技術と道徳とを結びつけた独自の**“報徳仕法”**による農村復興に心血を注いだ。水野忠邦に登用され幕臣となる。

☆その節約・勤勉の精神は，戦前の修身教育の素材となった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

き　**大原幽学（天保期）**

全国を流浪後，下総国で村政改革に尽力した農民指導者。のち幕府から農民扇動の嫌疑をうけ自害。

く　その他の農書

『会津農書』（佐瀬与次右衛門），『百姓伝記』（著者不明），『耕稼春秋』（土屋又三郎），『田法記』（岩崎佐久治），『老農夜話』（中台芳昌）など

---

③商品作物栽培の発達⇒商業的農業の進展

A　**四木**

楮・桑・茶・漆

B　**三草**

紅花・藍・麻

C　その他

綿花〔木綿〕・甘藷〔さつまいも〕・甘蔗〔さとうきび〕・櫨〔蠟〕・朝鮮人参など

D　**特産地**の形成

紅花（出羽村山），漆（会津・輪島など），ぶどう（甲斐），みかん（紀伊），茶（山城宇治・駿河），**油菜〔菜種〕（近江・摂津・河内）**，**綿花〔木綿〕（河内・尾張・三河**・伊勢など），藺草（備前・備中・備後），**藍〔藍玉〕（阿波）**，黒砂糖（薩摩・讃岐），タバコ（薩摩）など

---

④牧畜の発達⇒農耕・軍事・交通用として牛馬を重視

A　馬

南部藩，津軽藩など東北地方

B　牛

但馬，出雲など山陰地方

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　諸産業の発達

①林業

A　城下町における建築資材の大量需要

材木問屋の活躍により，産地は蝦夷地まで広がる。

B　**幕府・諸藩の保護**や植林

尾張藩の**木曽檜**，秋田藩の秋田杉など。

---

②漁業

A　漁法

地曳網・船曳網・定置網などの網漁を中心とする，**上方漁法**の伝播。

☆入会漁業（共同）から網元経営（網元〔網主〕と網子）へ。

B　獲物と漁場

鰯（上総九十九里浜），**鰊（蝦夷地松前）**，鮪（肥前五島），鰹（土佐），鯨（紀伊・土佐・長門・肥前），**昆布（蝦夷地）**，**俵物〔俵物三種＝いりこ・ほしあわび・ふかのひれ〕（蝦夷地）**，海苔（江戸湾），かき（広島湾）など

---

③製塩業

瀬戸内海沿岸を中心に，**入浜式塩田**が発達。

☆**赤穂（播磨国）**，行徳（下総国）など。

---

④鉱業⇒金・銀は減少

A　**幕府直営**

金山（佐渡相川・伊豆），**銀山（但馬生野・石見大森）**，**銅山（足尾）**など

B　藩営

あ　秋田藩

銀山（院内・阿仁），銅山（阿仁）

い　南部藩

銅山（尾去沢），鉄山（釜石）

☆釜石鉄山は，幕末に鉄鉱石と木炭で製鉄を開始。

C　**住友家**〔泉屋〕の経営

銅山（伊予別子）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　技術の進歩⇒露天掘(ろてんぼり)から坑道法(こうどうほう)へ

あ　**灰吹法**(はいふきほう)（金銀）

室町時代，**博多商人神谷寿禎**(かみやじゅてい)により朝鮮から伝来。

い　南蛮吹(なんばんぶき)（銅）

銀と銅を吹き分ける方法。住友家が別子銅山で導入。

う　**たたら製鉄**〔精錬(せいれん)〕

砂鉄と木炭を原料として玉鋼(たまはがね)をつくり出す方法。出雲地方を中心に，古代から行われる。

E　その他の資源

石油（越後），石炭（肥前）など。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　手工業の発達

①生産形態の発展

A　**農村家内工業**　**(17世紀)**

原料・器具ともに農家の自前で行う手工業。

B　**問屋制家内工業(18～19世紀)**

問屋商人が資金・原料・器具を前貸しし，農家で行う手工業。

C　**工場制手工業〔マニュファクチュア〕(19世紀)**

奉公人〔賃金労働者〕を１カ所に集め，**分業にもとづく協業**を行う。

☆酒造業・鉱山業では，17世紀の段階ですでにみられた。

---

②織物業

A　**絹**⇒高級品

18世紀以降，京都西陣の**高機**による技法が，桐生など各地の機業地に広まる。

☆**西陣織(京都)**，**桐生絹**･伊勢崎絹(**上野**)，**足利絹(下野)**，結城紬(下総)，**丹後縮緬(丹後)**，上田紬(信濃)，博多織(筑前)など

B　**麻**と**木綿**⇒庶民の代表的衣料

いざり機〔地機〕による農村の女性労働力が支える。

☆**麻**　⇒**越後縮〔小千谷縮〕(越後)**，近江麻〔近江蚊帳〕(近江)，奈良晒(大和)，薩摩上布(薩摩)など

☆**木綿⇒久留米絣(筑後)**，小倉織(豊前)，有松絞(尾張)など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③その他の手工業と名産

A　**和紙**⇒流漉(ながしすき)の普及

奉書紙(ほうしょがみ)・鳥の子紙(とりのこがみ)（越前），美濃紙（美濃），**杉原紙(すいばらがみ)（播磨）**，檀紙(だんし)（讃岐），土佐紙（土佐）など

B　**陶磁器**

有田焼(ありたやき)〔伊万里焼(いまりやき)〕（肥前），**京焼(きょうやき)**〔清水焼(きよみずやき)・粟田焼(あわたやき)など〕・**楽焼(らくやき)（京都）**，**瀬戸焼**・常滑焼(とこなめやき)**（尾張）**，美濃焼〔多治見焼(たじみやき)〕（美濃），**九谷焼(くたにやき)（加賀）**，信楽焼(しがらきやき)（近江），備前焼（備前），萩焼(はぎやき)（長門），高取焼(たかとりやき)（筑前），**唐津焼(からつやき)（肥前）**など

C　**漆器(しっき)**

輪島塗(わじまぬり)（能登(のと)），**会津塗**・南部塗**（陸奥）**，能代春慶塗(のしろしゅんけいぬり)（出羽），飛騨(ひだ)春慶塗（飛騨）など

D　**醸造(じょうぞう)**

あ　**清酒(せいしゅ)**　　**伏見（山城）**，**灘(なだ)・伊丹(いたみ)**・池田**（摂津）**など

い　**醤油(しょうゆ)**　　**野田・銚子(ちょうし)（下総）**，京都，竜野(たつの)（播磨）など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4　交通の発達

①背景

江戸幕府の全国統一による，**商品流通網の形成**と参勤交代の制度化。

☆商品作物生産が進展，庶民の旅行も増加。

---

②水上交通（モノの移動）

A　河川(かせん)交通⇒淀川(よどがわ)・利根川(とねがわ)水運が特に発達

あ　**角倉了以(すみのくらりょうい)（京都）**が開発

保津川(ほづ)〔大堰川(おおい)〕・賀茂川(かも)・**高瀬川(たかせ)（山城）**，**天竜川（遠江(とおとうみ)）**，**富士川（駿河）**

い　**河村瑞賢(かわむらずいけん)（江戸）**が開発

安治川(あじ)（摂津）

B　海上交通

あ　**南海路**　　　　　**（大坂⇒⇒⇒江戸）**

菱垣廻船(ひがきかいせん)（17世紀前半～），**樽(たる)廻船**〔小早(こはや)〕（18世紀前半～）が就航(しゅうこう)。

☆19世紀以降，船足(ふなあし)の速さにより**樽廻船が圧倒的優位**に立つ。

☆その他，尾州(びしゅう)廻船の内海(うつみ)船なども就航。

い　**東廻り航路〔海運〕（東北⇒⇒⇒江戸）**

寛文(かんぶん)年間の1671年，**河村瑞賢が整備**。

う　**西廻り航路〔海運〕（東北⇒⇒⇒大坂）**

寛文年間の1672年，**河村瑞賢が整備**。

☆のち蝦夷地まで延長され，**北前船(きたまえぶね)**が運行。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③陸上交通（ヒトの移動）

A　**五街道**⇒江戸の**日本橋**を起点とし，**道中奉行**が支配。

あ　**東海道**　（**江戸日本橋〜京都三条大橋**）

品川〜大津**53宿**に100人・100疋を常備。

☆**関所⇒箱根（相模国），新居〔今切〕（遠江国）**

い　**中山道〔中仙道〕**　（**江戸〜草津**）

板橋〜守山**67宿**に50人・50疋を常備。

☆関所⇒碓氷〔横川〕（上野国），木曽福島（信濃国）

う　**甲州道中〔甲州街道〕（江戸〜下諏訪）**

内藤新宿〜上諏訪44宿に25人・25疋を常備。

☆関所⇒小仏（武蔵国）

え　**日光道中〔日光街道〕（江戸〜日光）**

千住〜鉢石21宿に25人・25疋を常備。

☆関所⇒栗橋（武蔵国）

お　**奥州道中〔奥州街道〕（宇都宮〜白河）**

千住〜白河27宿に25人・25疋を常備。

☆宇都宮までの17宿は日光道中と共通。

B　**脇街道〔脇往還〕**⇒勘定奉行が支配

伊勢街道，北国街道，中国街道など

C　その他の街道

例幣使街道（中山道の倉賀野〜日光道中の今市）

☆朝廷から日光東照宮への使者（日光例幣使）が通行。

D　設備

あ　**宿駅〔宿場〕**

問屋場　⇒継飛脚の人馬継立などを行う，公営の施設。

本陣・脇本陣　⇒大名・公家・幕府役人が利用する，民営の宿。

旅籠屋・木賃宿⇒一般旅行者が利用する，民営の宿。

い　その他

一里塚（36町＝約4kmごと），並木，橋，渡船場，茶屋，馬，駕籠など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

E　障害⇒治安維持を目的としたが，商品輸送には悪影響

あ　**関所**

日の出から日の入りまで通行可能で，通行には関所手形が必要。東海道箱根関(はこねのせき)は，とくに“**入鉄砲(いりでっぽう)に出女(でおんな)**”を厳しく取り締まった。

い　渡し（架橋(かきょう)の禁止）

川越人足(かわごえにんそく)⇒**大井川**・安倍川（**駿河国**）など

渡船(とせん)　⇒天竜川（遠江国），富士川（駿河国）など

F　通信⇒**飛脚(ひきゃく)**

あ　**継飛脚(つぎびきゃく)**

幕府公用の飛脚。老中・京都所司代・大坂城代など幕府高官の利用に限られた。

い　大名飛脚

藩公用の飛脚。江戸藩邸と国元(くにもと)・大坂蔵屋敷との連絡にあたった。

う　**町飛脚(まちびきゃく)**〔定六(じょうろく)・三度飛脚〕

一般の飛脚。三都の商人が運営する**飛脚問屋**が業務を扱った。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈*Note*〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5　商業の発達

①背景

A　**幕府・諸藩の年貢米換金の必要性**

B　**幕藩体制の確立による武士の都市生活**

☆参勤交代による江戸の発展。

C　**全国的な交通網の発達**

D　**準統一的貨幣の使用**

---

②全国的商品流通網の成立

A　**蔵物（年貢米・国産品）・納屋物**（一般流通品）の流通

三都に大量に流入・消費後，全国へ。

B　**蔵元・掛屋**

大坂中之島に諸藩が設置した**蔵屋敷**で業務に従事。

☆蔵元は**蔵物の出納・売却**，掛屋は**代銀の保管や藩への送付**にあたるが，
双方を兼任する場合も多かった。

C　**札差〔蔵宿〕**

江戸浅草の蔵前で，**旗本・御家人相手に蔵米の換金にあたる。**

D　**卸売市場**〔専門市場〕

都市の**問屋商人**が，**仲買**を通じ**小売**に対して納屋物を売却。

あ　**大坂**

堂島の米市，雑喉場の魚市，天満の青物市

い　**江戸**

日本橋の魚市，神田の青物市

---

③問屋商人の発達

同業・異業を問わず，利害を同じくする団体である**仲間**を形成。仲間掟を定めて営業の独占をはかる。**大坂**の十人両替や**二十四組問屋（荷積問屋）**，**江戸**の**十組問屋**（1694年結成，**荷受問屋**）などが有名。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④株仲間の結成

A　意味

株札の交付をうけ，**株（幕府・諸藩公認の営業独占権）**をもつ**仲間**。都市問屋商人が主流となった。

B　変遷

あ　江戸時代初期（17世紀前半）＝禁止（糸割符仲間・金座・銀座などは例外）

☆初代将軍家康

い　元禄時代　　（17世紀後半）＝黙認

☆５代将軍綱吉

う　**享保の改革　（18世紀前半）＝公認**

☆８代将軍吉宗

え　**田沼時代　　（18世紀後半）＝奨励（運上・冥加**を納めさせる）

☆10代将軍家治，**老中田沼意次**

お　**天保の改革　（1841年）＝解散**

☆12代将軍家慶，**老中首座水野忠邦**

か　**嘉永年間　　（1851年）＝再興**（在郷商人も参加）

☆12代将軍家慶，老中首座阿部正弘

き　明治維新期　（1872年）＝廃止

☆明治新政府

C　義務

運上〔運上金〕・冥加〔冥加金〕とよばれる営業税を負担。

---

⑤その他の商人の活躍

A　近江商人が全国に進出

B　富山売薬商人の活躍

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

6　貨幣と金融

①三貨(金貨・銀貨・銭貨)

A　**金座**(**後藤庄三郎**の管轄)

江戸・京都に設置後，**江戸**に一本化。小判などの金貨を鋳造。当初は京都の大判座(後藤四郎兵衛の管轄)も含んだ呼称，のち江戸の小判座のみをさす。

☆金貨の単位＝両・分・朱の４進法

B　**銀座**(大黒常是らの管轄)

伏見・駿府に設置後，**江戸**に一本化。**丁銀・豆板銀**などの銀貨を鋳造。

☆銀貨の単位＝貫・匁・分・厘・毛(重量単位)

C　**銭座**(民間請負，金座・銀座の支配を受ける)

江戸・坂本に設置後，民間請負の形で各地に拡大。**寛永通宝**(1636年～)などの**銅銭**・鉄銭・真鍮銭を鋳造。

☆銭貨の単位＝貫・文

D　**問題点**

あ　**金貨・銭貨は計数〔定位〕貨幣，銀貨は秤量貨幣。**

☆田沼時代の明和五匁銀・**南鐐二朱銀**は，例外的な計数銀貨。

い　**江戸(東日本)の金遣い，大坂(西日本)の銀遣い。**

う　**三貨交換率の変動**による混乱

☆1609年，**金１両＝銀50匁＝銭４貫〔4000文〕**と公定されたが，1700年，金１両＝銀60匁と改めた。実際はその時々の相場に従う。

え　結局，明治時代まで**正式な統一的貨幣制度は成立せず。**

---

②紙幣

A　**藩札**

藩内のみに通用，発行には幕府の許可が必要。

☆1661年，福井〔越前〕藩発行のものが最初。

B　私札⇒江戸時代前期

畿内やその周辺の先進地域で商人が発行。大坂・堺など地域限定で通用。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③両替商

A　**本両替**（大坂に多い）

金貨と銀貨の交換をおもに，預金・貸付・為替・手形発行などの銀行業務も行い，**大名貸**となる者もあった。

☆大坂の有力な本両替は，十人両替に選任される（1670年＝寛文年間）。

☆**鴻池屋**・天王寺屋・平野屋（**大坂**），三谷・鹿島屋（江戸），**三井両替店**（**三都**）などが有名。

B　銭両替（各地に存在）

手数料を取り，金･銀貨と銭貨の交換を行う。商品売買との兼業も多かった。

---

④庶民金融

A　質屋・高利貸

B　無尽・頼母子⇒相互金融

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　三都(さんと)の発達

①江戸（「将軍のお膝元(ひざもと)」）

1457年，扇谷(おおぎがやつ)上杉家の執事**太田道灌(おおたどうかん)**が**江戸城**を築城。1590年の**徳川家康入府(にゅうふ)**以降，急速に発展。**明暦(めいれき)の大火（1657年）からの復興**後，市域をさらに拡大。幕府所在地で，大名の藩邸や旗本・御家人の屋敷もあり，**人口100万人**を超(こ)える世界有数の**政治都市・消費都市**。

---

②大坂（「天下の台所」）

豊臣秀吉が，石山本願寺跡(あと)に**大坂城**を築き，堺などの町人を移住させて発展。中之島(なかのしま)を中心に諸藩が**蔵屋敷**を置き，年貢米や国産品を**蔵物**として販売，**全国の物資を集散**する**商業都市**。幕府は大坂城代・大坂町奉行を置き，西日本支配の要とする。人口約35～40万人。

---

③京都

古代からの**朝廷所在地**で，寺院の本山や高級職人・医者・儒者・芸能者が集中する**首都・文化都市**。幕府は京都所司代・京都町奉行・二条城代を置き，西日本の管轄と朝廷の監視を行う。人口約35～40万人。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第27講　確認テスト

1　新田開発後，検地を受けるまでの数年の無税期間を何というか？

①　立券荘号　②　加地子　③　本途物成　④　鍬下年季

2　ふるいにかわる，米穀の選別具を何というか？

①　千歯扱　②　唐箕　③　千石簁　④　踏車

3　福岡藩出身の宮崎安貞が著した，わが国初の本格的農書とは？

①　『清良記』　②　『農政全書』　③　『農業全書』　④　『農政本論』

4　相模国小田原藩出身で，関東各地において「報徳仕法」による農村復興に心血を注ぎ，のち水野忠邦により幕臣に登用された農政家とは？

①　田中丘隅　②　大蔵永常　③　二宮尊徳　④　大原幽学

5　江戸時代の商品作物のうち，“三草”にあてはまらないものを一つ選べ。

①　桑　②　紅花　③　藍　④　麻

6　大坂の住友家〔泉屋〕が伊予国で経営した江戸時代最大の銅山がある地名とは？

①　足尾　②　別子　③　阿仁　④　釜石

7　銚子と並ぶ醤油の産地として有名な，下総国の地名とは？

①　野田　②　竜野　③　佐原　④　猿島

8　年貢米や国産品に対し，一般流通品を何というか？

①　高掛物　②　下り物　③　蔵物　④　納屋物

9　江戸で旗本・御家人相手に蔵米の換金にあたる商人とは？

①　借上　②　蔵元　③　掛屋　④　札差〔蔵宿〕

10　米の卸売市場〔専門市場〕があった大坂の地名とは？

①　堂島　②　天満　③　雑喉場　④　日本橋

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

11　江戸の小判座（金座）を代々管轄した商人とは？

①　後藤祐乗　②　後藤徳乗　③　後藤四郎兵衛　④　後藤庄三郎

12　1661年，幕府の許可を得て初めて藩札を発行した藩とは？

①　会津藩　②　越前藩　③　長州藩　④　薩摩藩

13　安治川（摂津国）水運を開発，東廻り・西廻り航路を整備した，のち幕臣となる江戸深川の材木商とは？

①　角倉了以　②　河村瑞賢　③　鴻池善右衛門　④　三井高利

14　板橋～守山67宿に50人・50疋を常備する，五街道の一つとは？

①　東海道　②　中山道〔中仙道〕　③　甲州街道　④　日光街道

15　宿駅〔宿場〕で人馬継立を行う公営施設を何というか？

①　問屋場　②　本陣　③　旅籠屋　④　関所

解答

1	④	2	③	3	③	4	③	5	①
6	②	7	①	8	④	9	④	10	①
11	④	12	②	13	②	14	②	15	①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。